



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月3日(月曜日)			
講習名	住生活を考える			
領域	必修		選択必修	選 抜
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	川村恭平			
講習内容	<p>(1)インテリアの基本的な内容と3DCADによる間取りの構成を考える。  (2)各自が理想と考える間取りを3DCADで完成する。  (3)建築デザイン学科で独自に開発した(家庭科住居分野で使用できる教材)間取り構成ツールを使用して、3DCADで作成した平面図と併せて間取り構成を完成する。</p>			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	住生活を基本にした住宅建築及びインテリアの概要について(講義及び質疑)
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	課題Ⅰ 高等学校家庭科で使用する教科書を使用して、インテリアを考慮した自由な間取りを考え、3DCADであるマイホームデザイナーを使用して間取り及び3Dモデルを完成する。さらにコンセプトについて発表する。(講義及び演習及び発表)
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	課題Ⅱ アニメ「ちびまる子ちゃん」の家を3DCADを使用して3Dモデルとして完成する。(演習)
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	課題Ⅲ 本学建築デザイン学科で独自に開発した間取り構成ツールを使用して、「課題Ⅰ」、「課題Ⅱ」を立体モデルとして完成する。(演習)
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	課題の完成作品について発表
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	完成作品で評価	
テキスト	特になし	
参考図書	9. 1mm方眼紙(A3)(本学で用意)	
持参物	筆記用具、スケール(30cm程度)	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開 講 日	2020年 8月 4日 ( 火曜日 )			
講 習 名	マルチメディアに関する講習			
領 域	必 修		選 択 必 修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職 種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指 導 教 員	山城新吾、長濱太造			
講 習 内 容	幼稚園や学校において、ホームページ作成や各種の掲示・案内物・ポスター、電子黒板や電子教科書などの利用を含む教材作成、児童・生徒による学習成果物作成など、様々な場面でのマルチメディア活用に関する需要は増加している。本講習においては基本的な画像処理・映像処理の技術について実際にコンピュータを操作しながら学ぶことを目的とする。なお講習時間中に作成した作品により評価を行う。			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30～8:50	受付
	8:50～9:00	オリエンテーション
1 講 時 (90分)	9:00～10:30	静止画処理実習1 Adobe Photoshopを利用したポストカード等作成・印刷
2 講 時 (90分)	10:40～12:10	静止画処理実習2 Adobe Photoshopを利用したポストカード等作成・印刷
昼食休憩	12:10～13:10	
3 講 時 (90分)	13:10～14:40	映像処理実習1 一般的なビデオカメラ・スマートフォン等を利用した撮影の基礎 Adobe Premiereを利用した映像編集
4 講 時 (90分)	14:50～16:20	映像処理実習2 一般的なビデオカメラ・スマートフォン等を利用した撮影の基礎 Adobe Premiereを利用した映像編集
(10分)	16:20～16:30	事後アンケート
評価方法	実習で制作した作品により評価	
テキスト	講義用オリジナル資料を配布	
参考図書	特になし	
持 参 物	天候にもよりますが、キャンパス内(屋外)で静止画・動画の撮影を行います。帽子等をご持参ください。普段お使いのデジタルカメラ・ビデオカメラ、またはスマートフォン等があれば持参しても構いませんが、コンピュータに取り込むためのケーブル・アダプタ類は忘れずに持参してください。あわせて接続方法や取り込むための操作を事前にご確認ください。	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開 講 日	2020 年 8 月 4 日 ( 火曜日 )			
講 習 名	生徒指導に役立つ医学と保健の知識			
領 域	必 修		選 択 必 修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職 種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指 導 教 員	伊田羅勝義、森脇智秋			
講 習 内 容	<p>今、従来の「健康」に関する疑問の声が挙がっている。ここでは「障害」の視点からあらためて「健康」とはどのような意味であるかを考える。さらにこの講習では、児童・生徒の多様な健康問題(性感染症などを含む)を問題対処型から予防的対応をする視点で捉えられるように留意する。</p>			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	障害について考える
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	思春期におこる心身の変化を知ろう!
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	アナフィラキシーショック
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	子どもたちにおこる健康問題を考える。
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	試験	
テキスト	特になし	
参考図書	特になし	
持 参 物	筆記用具	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開 講 日	2020 年 8 月 6 日 ( 木曜日 )			
講 習 名	初心者のためのコンピュータミュージック講座			
領 域	必 修		選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職 種	教諭、養護教諭・栄養教諭
指 導 教 員	原井俊典			
講 習 内 容	<p>iPadまたはiPhoneと、音楽アプリ「GarageBand」を使用しますので、これらをお持ちの方のみを対象とします。事前にiPadまたはiPhoneに音楽アプリGarageBandをインストールし、動作確認をした上でご持参ください。なお、楽譜が全く読めない方は受講できません。</p> <p>前半は講義形式により、コンピュータミュージックの仕組みや基礎的内容を解説、またiPadやiPhoneによる簡単な音楽制作に取り組みます。後半は実際にパソコンを使用し、簡単な音楽制作に取り組みます。</p> <p>日常の多様な教育活動の中に、簡単なコンピュータミュージックを取り入れるという観点から、音楽科教諭以外も対象とします。</p>			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	<b>【講義】音楽制作の基礎知識</b> ● コンピュータ・ミュージックの歴史と仕組み、用語等解説 ● iPhone、iPadを使用した音楽制作の基礎知識
2 講 時 (80分)	10:25~11:45	<b>【演習・実技】iPhone、iPad を使用した音楽制作演習</b> ~初めて音楽制作に取り組む際のポイントとその方法~
昼食休憩 (60分)	11:45~12:45	
3 講 時 (95分)	12:45~14:20	<b>【実技】パソコンを使った音楽制作(評価対象作品制作)①</b>
4 講 時 (95分)	14:30~16:05	<b>【実技】パソコンを使った音楽制作(評価対象作品制作)②</b>
(10分)	16:05~16:15	事後アンケート
評価方法	実技考査(作品評価)	
テキスト	テキストや楽譜はこちらで用意します。	
参考図書	特になし	
持 参 物	<b>【必須】</b> iPhone または iPad (その他のスマホ、タブレットは不可)に、音楽用アプリ「GarageBand」をインストールして持参してください。持参されない場合や、当日アプリが動作しない場合は、成績が認定されません。 <b>【その他】</b> 筆記用具	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月6日(木曜日)			
講習名	エシカル消費と徳島の食文化の継承			
領域	必修		選択必修	選 抜
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	松下純子、坂井真奈美、佐賀啓子、長尾久美子			
講習内容	<p>健全な身体育成を目指し健康を維持するためには、幼少期からの食意識による自己管理能力が必要です。そこでエシカル消費の理念に基づいた教育方法を演習し、地元の環境で生育した野菜や地域性、栄養的価値について学びます。地産野菜を利用した「夏野菜のレモン酢豚」「いなり寿司」「そば米汁」「白和え」を調理し、「ワラビ饅頭」をお抹茶で頂きます。未来ある子ども達への食育指導・エシカル消費の理解などを目的とします。</p>			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (65分)	8:55~10:00	徳島の地産野菜と和食文化について
2 講 時 (120分)	10:10~12:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏野菜のレモン酢豚</li> <li>・いなり寿司</li> <li>・そば米汁</li> <li>・白和え</li> <li>・ワラビ饅頭</li> </ul>
昼食休憩 (50分)	12:10~13:00	食事 と 休憩
3 講 時 (100分)	13:00~14:40	エシカル消費とバランスの良い食事
4 講 時 (50分)	14:50~15:40	抹茶を点てて、わらび饅頭と共に頂く
5 講 時 (40分)	15:50~16:30	試験
(10分)	16:30~16:50	事後アンケート
評価方法	試験および実習点	
テキスト	プリント	
参考図書	特になし	
持参物	筆記用具・エプロン・三角巾・手ふき	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月7日(金曜日)			
講習名	音楽作品研究			
領域	必修		選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	村崎和子、熊谷公博、石井恭二、板東久美			
講習内容	<p>音楽の実践を学級、部活動の教育活動、情操教育に生かすことを目標とする。その為にピアノ、声楽、管楽器、リコーダー、篠笛、指揮法などの実技レッスンを通して作品の背景、分析を行いより深い演奏法を研究する。ボディーパーカッションを通して、アンサンブルを学ぶ。それぞれの実技のレッスン希望の方は、楽器、楽譜のご用意をお願いいたします。</p>			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	指揮法講座
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	篠笛、ボディーパーカッション
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	歌唱作品研究～発声と共鳴の原理      ピアノ、管楽器奏法研究
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	同上
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験（実技の発表。希望者は楽曲、楽譜をご用意ください。）
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	実技考査	
テキスト	特になし	
参考図書	特になし	
持参物	レッスンを受けたい楽曲の楽譜、楽器。	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月17日(月曜日)			
講習名	ヘルシースクールを目指す教育実践の進め方(ワークショップ)			
領域	必修		選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	貴志知恵子、竹内理恵			
講習内容	いじめ、自殺、ストレス、生活習慣の乱れ等、現代の子どもの健康課題は山積みしている。そこで、ヘルシースクールを目指すために、異なる校種や職種の教職員がそれぞれの持ち味を活かして相互に学び合うことにより、健康課題の解決方法を探る。さらに、その具現化のために子ども達の主体的・対話的な深い学びに留意し、教育実践への実践力を高めるワークショップを行う。			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	講義Ⅰ ヘルスプロモーションの理念によるヘルシースクールを目指す教育実践の進め方 ワークショップⅠ ヘルシースクールの観点から学校の現状を振り返る
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	講義Ⅱ アクティブラーニングを取り入れたヘルシースクールにおける教育実践の進め方 ワークショップⅡ ヘルシースクールを目指す教育実践についてのグループ協議(1)
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	ワークショップⅢ ヘルシースクールを目指す教育実践についてのグループ協議(2)
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	講義Ⅲ チーム学校としての教育実践の評価 ワークショップⅣ ヘルシースクールを目指す教育実践の全体発表及び意見交換 講習のまとめ
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	課題レポート及び筆記試験	
テキスト	自作のテキスト	
参考図書	ヘルスプロモーションの有効性に関するエビデンス,西日本法規出版、2003	
持参物	自校の健康課題を挙げる。	

## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月17日(月)	
講習名	自然環境の教え方－ESDと防災を目指して－	
領域	必修・ <b>選択</b>	
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭・養護教諭	
指導教員	古田 昇, 新見 延安	
講習内容	①「自然と人間との関わりと履歴」の具体例から、ESD(持続可能な開発のための教育)や防災等地域課題の解決力を養う。②地形・気候システムのメカニズムと他地域と関連づけた授業展開。③GIS(地理情報システム)を積極的に利・活用できる事例紹介と教材作成体験。④歴史・公民系や他科目にも理解でき活用できる内容。	

講義計画		
講時	内 容	
	8:30～8:50	受付
	8:50～8:55	オリエンテーション
1講時	8:55～10:15	【講義とミニ演習】 地形環境のとらえ方①－大地形のメカニズム・景観・生業・地震災害、火山災害GISを用いたマップの紹介
2講時	10:30～11:50	【講義とミニ演習】 地形環境のとらえ方②－微地形の形成と文化的景観・生業・災害(とくに水災害)とのかかわりGISの活用事例の紹介
昼食休憩	11:50～12:50	
3講時	12:50～14:10	【講義とミニ演習】 気候環境のとらえ方－持続可能な適地適作とESD教育、災害にそなえる環境のとらえ方 気象データの利用
4講時	14:25～15:45	【演習】 GISを用いた授業教材の作成演習
5講時	15:55～16:45	試験
	16:45～16:55	事後アンケート
評価方法	実技試験	
テキスト	配付資料を準備します。	
参考図書	古田昇(2005): 平野の環境歴史学, 古今書院, 268頁ほか。	
持参物	演習データの復習等に、USBフラッシュメモリをご持参いただくと便利です。	





## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月18日(火曜日)		
講習名	子どもの表現を豊かにする保育教材		
領域	必修 選択必修 (選択)		
受講対象者	学校種	(幼・小・中・高・特支)	職種 (教諭)・養護教諭・栄養教諭
指導教員	児嶋輝美、岩崎順江		
講習内容	<p>領域「表現」のねらいと内容について確認するとともに、事例を通して理解を深める。そのうえで、子どもの表現を豊かに育むための保育教材や遊びについて実践的に学ぶ。領域「表現」の内容を踏まえて、「作って遊ぶ」「作ってうたう」活動につながる保育教材の製作、「音で遊ぶ」楽器を用いた活動、「うたって遊ぶ」手遊び等を取り上げる予定である。</p>		

講義計画		
講時	時間・内容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講時 (80分)	8:55~10:15	パネルシアターの活用の仕方を学び、「ペンギンちゃん」の曲をもとにした作品を制作する。
2 講時 (80分)	10:30~11:50	保育教材としての手遊びの意義を学び、楽器遊びや制作活動などへの展開を体験する。
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講時 (80分)	12:50~14:10	手袋シアターの活用例や作り方のヒントを学び、実際に手遊び「りんごころころ」の手袋シアターを制作する。
4 講時 (80分)	14:25~15:45	制作した保育教材を用いて歌や話の発表する。まとめとして、参加者の実践事例を発表し合い、保育への活かし方について考える。
5 講時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験※配布プリント、楽譜等の持ち込み可	
テキスト	配布プリント	
参考図書	『あそびうた大全集』永岡書店、『保育で使える！手袋シアター』ナツメ社	
持参物	ハサミ、裁縫道具(針と針山程度)、絵具用パレット、筆を用意してください。絵具、マジックはこちらで用意します。	

## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月18日(火)
講習名	GISを理解・活用するー入門と基礎演習ー
領域	必修・ <b>選択</b>
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭・養護教諭
指導教員	古田 昇, 中条 義輝
講習内容	GISは、位置情報をキーに様々な情報を結んで可視化し、高度な分析や迅速な判断を可能にします。本講習ではGIS初心者(パソコンの初歩操作ができる人)を対象に、演習中心にGISの基本原理と操作法を学びます。町の探検活動の行動ルートや写真を一枚の図に表現したり、歴史地図・環境変化、ハザード、インフルエンザ感染エリア、マーケティングなど各校種、各単元で利用できる様々なデータマップの作成方法を紹介します。

講義計画		
講 時	内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1講時	8:55~10:15	【講義・演習】 GISからひろがる世界ー基本概念、GISで扱えること、まずトライ
2講時	10:30~11:50	【演習】 GIS基本操作の理解ーマップ・データを扱う
昼食休憩	11:50~12:50	
3講時	12:50~14:10	【講義・演習】 地図についてー投影法、座標系、測地系、縮尺など
4講時	14:25~15:45	【演習】 GISデータの構築と利用ーある地域の事例を使って
5講時	15:55~16:45	試験
	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	実技試験	
テキスト	配布資料あり	
参考図書	矢野桂司(1999):地理情報システムの世界,ニュートンプレス,250頁.など	
持参物	演習データをお渡しするのでUSBメモリがあればご自宅での復習時に便利です。	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月19日(火曜日)		
講習名	子どもと家庭支援について-実践から考える-		
領域	必修	選択必修	選択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種
			教諭 養護教諭・栄養教諭
指導教員	岡山千賀子		
講習内容	<p>少子高齢化社会の進行とともに家族や家庭生活は、多様化し、かつめまぐるしく変容している。このような現代社会の中で、子どもが心身共に健康でよりよく育つための子ども家庭支援は、きわめて重要である。</p> <p>本講座では、「子どもと家族」「子育てを巡る課題」「子育て支援の制度・政策」「子育て支援のあり方」などの内容について具体的な事例を取り上げながら講じ、子どものよりよい育ちに通じる家庭支援の実践的な力を培う。</p>		

講義計画		
講時	時間・内容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1講時 (80分)	8:55~10:15	現代社会の子どもとその家族・家庭生活について。
2講時 (80分)	10:30~11:50	子育てを巡るいろいろな課題を取り上げ、その対応について考える。
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3講時 (80分)	12:50~14:10	子育て支援の制度・政策について。
4講時 (80分)	14:25~15:45	家庭支援のための学校・園(教員)・家庭・社会の連携について。 子育て支援のあり方について。
5講時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験	
テキスト	作成プリントによる	
参考図書	随時紹介	
持参物	はさみ・セロハンテープ・カラーマジック(あれば)	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開 講 日	2020 年 8 月 19 日 ( 水曜日 )		
講 習 名	様々な画材の表現と鑑賞の方法		
領 域	必 修	選 択 必 修	選 択
受講対象者	学 校 種	幼 ・ 小 ・ 中 ・ 高 ・ 特 支	職 種
			(教諭) 養護教諭 ・ 栄養教諭
指 導 教 員	仁宇暁子		
講 習 内 容	クレヨン、パス、鉛筆、コンテ、墨などの画材の効果的な活かし方や紙の特質に適した表現方法を体験します。また、図画工作や美術の時間に生かすことができる感性トレーニングや絵遊びを個人やグループで行い、子どもたちの内に潜んでいる感性を引き出す方法を実践を交えて楽しく学びます。鑑賞では、子どもの作品や自分の作品の良さや特性を見抜く目も養います。		

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30～8:50	受付
	8:50～8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55～10:15	様々な画材を使ってクロッキーをする。(感性のトレーニング)
2 講 時 (80分)	10:30～11:50	鉛筆、クレヨン、パスを使って作品1を制作する。
昼食休憩 (60分)	11:50～12:50	
3 講 時 (80分)	12:50～14:10	墨とクレヨン、マスキングテープ、コンテ、水彩絵の具などを使って作品2を制作する。
4 講 時 (80分)	14:25～15:45	グループワークによる作品3を制作をする。(絵遊び)
5 講 時 (50分)	15:55～16:45	試験(技法と鑑賞)
(10分)	16:45～16:55	事後アンケート
評価方法	実技と鑑賞	
テキスト	感性トレーニング 様々な作品	
参考図書	形象冊子	
持 参 物	エプロンなど汚れても良い服装、水彩筆3本(24号15号6号程度)、使い古したタオル2枚、パレット、水彩絵の具12色程度	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月20日(木曜日)		
講習名	保育指導と気になる行動の理解		
領域	必修	選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種
			教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	三橋謙一郎、富樫敏彦		
講習内容	幼時期における保育指導のあり方について、理論的、且つ、実践的に追求する。次に、発達障害児が見せる気になる行動と感覚の偏りの関係を明らかにし、原因に応じた指導法について具体的に解説する。		

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	子どもを主体として育てる保育技術
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	子どもの成長を促す保育者と保護者とのコミュニケーションづくり
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	子どもの感覚の偏りを調べる方法
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	感覚の過敏さ、鈍感さからおこる気になる行動と指導の工夫
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験	
テキスト	特になし	
参考図書	特になし	
持参物	筆記用具	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開 講 日	2020 年 8 月 20 日 ( 木曜日 )			
講 習 名	教育に役立つ生物・薬学の知識・実習			
領 域	必 修		選 択 必 修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職 種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指 導 教 員	葛原隆、深田俊幸、喜多紗斗美、畠山大、原貴史、庄司正樹、太田紘也			
講 習 内 容	<p>現代の生物学は、分子から理解する分子生物学や細胞生物学・薬学の知識が重要である。本講習は、午前中は「分子生物学の基礎と発生分化、再生医療など」「免疫とエイズ」「循環器とその病気と薬」について講義を行う。午後は「細胞を蛍光抗体法での観察」の実習を行う。理科・生物および保健・養護に役立つ知識・技能を習得することを目標とする。</p>			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (60分)	8:55~9:55	分子生物学の基礎と発生分化、再生医療など (葛原隆)
2 講 時 (60分)	10:00~11:00	免疫とエイズ (深田俊幸)
3 講 時 (60分)	11:05~12:05	循環器とその病気と薬 (喜多紗斗美)
昼食休憩 (60分)	12:05~13:05	
4 講 時 (155分)	13:10~15:45	細胞を蛍光抗体法での観察 (葛原隆、深田俊幸、喜多紗斗美、畠山大、原貴史、庄司正樹、太田紘也)
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	実習における実技と筆記試験	
テキスト	配布プリント	
参考図書	細胞の分子生物学・レーニンジャーの生化学・遺伝子の分子生物学	
持 参 物	筆記用具	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月21日(金曜日)		
講習名	生徒指導の充実		
領域	必修	選択必修	選択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種
			教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	三橋謙一郎		
講習内容	生徒指導の教育的意義ならびに生徒指導の3つの機能を充足するための具体的・実践的な対処法について論ずる。また、「不登校」「いじめ」や「学級崩壊」等の問題行動への対応策についても検討を加えていく。		

講義計画		
講時	時間・内容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講時 (80分)	8:55~10:15	生徒指導の教育的意義
2 講時 (80分)	10:30~11:50	生徒指導の3つの機能を充足するための対処法
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講時 (80分)	12:50~14:10	問題行動に対する対応策(1)
4 講時 (80分)	14:25~15:45	問題行動に対する対応策(2)
5 講時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験	
テキスト	特になし	
参考図書	特になし	
持参物	筆記用具	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月21日(金曜日)			
講習名	心を元気にするレクリエーション支援についてー実践を通してー			
領域	必修		選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	岡山千賀子			
講習内容	人間関係が希薄化していると言われている今日、心を元気にするレクリエーション支援を通じて、コミュニケーション能力を高めることは極めて重要である。本講座では、人と人をつなぐホスピタリティやコミュニケーション・ワークの理論について具体的な支援の方法などを例を挙げながら講じ、その理論に基づいた実技を体験することから、子どもたちの心の元気に繋がるような教師としての実践的資質を培う。			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	講義Ⅰ「心を元気にするホスピタリティとコミュニケーション・ワーク」 ワークショップ:コミュニケーション・ワークの体験と場に応じたホスピタリティの示し方についてのグループ協議
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	講義Ⅱ「成功体験と自己決定力に繋がるレクリエーション支援」 ワークショップ:成功体験の事例と子どもたちの心の元気についてのグループ協議
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	講義Ⅲ「心の元気に繋がるレクリエーション支援の具体例について」 理論に基づいた実技体験や事例から心の元気に繋がるレクリエーション支援を考える。
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	講義Ⅳ「レクリエーション支援の具体的方法」 CSSプロセスとPDCAサイクル理論からレクリエーション支援の具体的方法を知る。
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験	
テキスト	配付資料	
参考図書	随時紹介	
持参物	筆記用具・ハサミ・セロハンテープ・のり・上靴・あれば両面テープ	





## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月21日(金曜日)			
講習名	現場で役立つ水彩の基礎と鑑賞の方法			
領域	必修		選択必修	選 扱
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	仁宇暁子			
講習内容	①水彩用具、紙類の扱いや技法の基礎を確認します。②簡単な線から具象的な花や抽象的な作品の応用まで発展させます。③作品を鑑賞することにより、互いの芸術観や感性を感じ取り、自らの良さに気づきます。④教室や職場で活用できる「みんな芸術家」の絵遊びを体験します。			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	水彩画用具の扱いかたと技法について確認する。
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	みんながやってみたくなるウエット技法を体験して鑑賞する。 (水で広がる色の世界、作品1)
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	絵の具の不思議さを引き出すドライグ技法を体験して鑑賞する。 (色の混色と水加減、作品2)
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	作品制作 (静物や花などを描く、作品3)
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験(技法と鑑賞)
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	実技と鑑賞	
テキスト	水彩作品	
参考図書	形象冊子	
持参物	汚れても良い服装、水彩筆3本(24号15号6号程度で毛がプラスチックでないもの)、使い古したタオル2枚、パレット、水彩絵の具12色程度	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月25日(火曜日)		
講習名	小学校英語教育SOS支援!		
領域	必修	選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職 種
			教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	堀口誠信、大岩秀紀、KITA LANCE YUKIO		
講習内容	<p>英語が苦手だから小学校教員になったのに今さら英語を教えなければならない、という方々に対し、英検準2級レベルのクラスルームイングリッシュを習得していただきます。動画・音声・パワーポイント等の教材研究も紹介しますので、中学校・高等学校教諭の方々の参加も歓迎です。ネイティブ教員による英語ソング・ゲーム・アクティビティの実演も行う観点から、英語活動がある現場の保育教諭、幼稚園教諭の方々も対象とします。</p>		

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	①ウォーミング・アップ(子音ならびに母音の発音) ②発音のおはなし(連結・同化・弾音化) ③クラスルーム・イングリッシュ15題・その1 ④練習 ⑤暫定テスト
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	①語彙教育について ②発話速度のおはなし ③英語のうた:どのタイミングでどのように、効果的に使うか
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	①英語のゲーム:どのタイミングでどのように、効果的に使うか ②英語のアクティビティ:少人数グループでの、効果的なゲームの活用、 さらに、もっと大勢でそのノウハウを共有する
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	①パフォーマンステスト(クラスルーム・イングリッシュを発音し、録音してもらう) ②英語による歌・ゲーム・アクティビティの整理と復習 ③「英語学習での気づき」を記述し、代表者に語ってもらう(1グループ10分くらいずつ)
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	論述試験とパフォーマンステスト(クラスルーム・イングリッシュの発話)	
テキスト	特になし(配布プリント・映像資料・音声資料をこちらで用意いたします)	
参考図書	追って授業中に紹介	
持 参 物	USBメモリ(4GBくらい)を持参されますと、資料の持ち帰りに便利です	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月26日(水曜日)			
講習名	心を元気にするレクリエーション支援についてー実践を通してー			
領域	必修		選択必修	選 択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	岡山千賀子			
講習内容	人間関係が希薄化していると言われている今日、心を元気にするレクリエーション支援を通じて、コミュニケーション能力を高めることは極めて重要である。本講座では、人と人をつなぐホスピタリティやコミュニケーション・ワークの理論について具体的な支援の方法などを例を挙げながら講じ、その理論に基づいた実技を体験することから、子どもたちの心の元気に繋がるような教師としての実践的資質を培う。			

講 義 計 画		
講 時	時 間 ・ 内 容	
	8:30~8:50	受付
	8:50~8:55	オリエンテーション
1 講 時 (80分)	8:55~10:15	講義Ⅰ「心を元気にするホスピタリティとコミュニケーション・ワーク」 ワークショップ:コミュニケーション・ワークの体験と場に応じたホスピタリティの示し方についてのグループ協議
2 講 時 (80分)	10:30~11:50	講義Ⅱ「成功体験と自己決定力に繋がるレクリエーション支援」 ワークショップ:成功体験の事例と子どもたちの心の元気にについてのグループ協議
昼食休憩 (60分)	11:50~12:50	
3 講 時 (80分)	12:50~14:10	講義Ⅲ「心の元気に繋がるレクリエーション支援の具体例について」 理論に基づいた実技体験や事例から心の元気に繋がるレクリエーション支援を考える。
4 講 時 (80分)	14:25~15:45	講義Ⅳ「レクリエーション支援の具体的方法」 CSSプロセスとPDCAサイクル理論からレクリエーション支援の具体的方法を知る。
5 講 時 (50分)	15:55~16:45	試験
(10分)	16:45~16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験	
テキスト	配付資料	
参考図書	随時紹介	
持参物	筆記用具・ハサミ・セロハンテープ・のり・上靴・あれば両面テープ	



## 教員免許状更新講習 シラバス

開講日	2020年8月26日(水曜日)		
講習名	生徒と教員のメンタルヘルス～療法的な音楽の活用～		
領域	必修	選択必修	選択
受講対象者	学校種	幼・小・中・高・特支	職種
			教諭・養護教諭・栄養教諭
指導教員	千葉さやか、井村幸子		
講習内容	<p>前半では、療法的音楽活動と音楽が人に与える影響について説明する。それらを踏まえて全ての健常および軽度の知的障害児を対象にコミュニケーションや自己表現をおこなう音楽活動を取り上げる。後半では、音楽活動を経験することをおして、音楽がいかに身体と気分、さらに集中力、自尊心にも影響を与えるかに気づき、ストレスと痛み、人生のうえでの変化に対処する方法を学ぶ(Mandel, 2010参照)。</p>		

講義計画		
講時	時間・内容	
	8:30～8:50	受付
	8:50～8:55	オリエンテーション
1講時 (80分)	8:55～10:15	実際に音楽活動に参加しながら、音楽が人に与える影響と「療法的音楽活動とは何か」について説明をおこなう。音楽活動と人間の機能領域の関係について考える。
2講時 (80分)	10:30～11:50	1講時の内容を踏まえて、健常児および軽度の障害児を対象とした自己表現やコミュニケーションを目的とする療法的音楽活動を取り上げ、紹介する。
昼食休憩 (60分)	11:50～12:50	
3講時 (80分)	12:50～14:10	はじめに、音楽療法が適用される領域および対象者を紹介する。そして、ストレスとリラクゼーション、痛みについて定義したあと、参加者は自身のストレスと痛みについてアセスメント(査定)をおこなう。
4講時 (80分)	14:25～15:45	聴く、歌う、動く、演奏するに加えて呼吸法、ストレッチ、マインドフルネス、漸進的筋弛緩法、アートなどを併用した音楽活動を経験し、参加者が「ミュージックプランワークシート」を作成できるよう援助する。また、各音楽活動について、脳科学および身体心理学(心と身体の関係)から説明をおこなう。
5講時 (50分)	15:55～16:45	試験
(10分)	16:45～16:55	事後アンケート
評価方法	筆記試験	
テキスト	なし	
参考図書	ウリアム・B・テイビス、ケイト・E・グフェラー & マイケル・H・タウト。(2015). 音楽療法入門: 理論と実践(第3版)(栗林文雄訳). 第1、2、3巻. 札幌: 一麦出版社. Hanser, S. B. and Mandel, S. E. (2010). <i>Manage your stress and pain through music</i> . Boston, MA: Berklee Press.	
持参物	なし	